

東名ジャンクション(仮称)上部空間等利用計画(案)づくりに向けての経過報告会
区民意見募集実施結果について

区民意見募集にご協力をいただき、ありがとうございました。

東名ジャンクション(仮称)上部空間等利用計画(案)づくりに向けての経過報告会(平成 29 年 10 月 19 日開催)に合わせて行った区民意見募集の実施結果について、下記のとおりご報告いたします。

いただいたご意見等については、上部空間等利用計画(案)づくりに向けての参考といたします。

1. 区民意見募集の実施結果

- ・期間：平成 29 年 9 月 25 日(月)～平成 29 年 10 月 31 日(火)
- ・媒体：区のお知らせ(9 月 25 日)、区のホームページ、上部空間等利用ニュース第 5 号
- ・受付状況：6 件

2. 上部空間等利用計画(案)づくりに向けてのご意見

| | |
|---|--|
| 1 | ①「みどりのみずと農のある憩いの公園」の面積がだいぶ少なくなっているため、灰色部(高速道路施設)をもう少し縮小してほしい。 ②高速道路施設とは具体的にどのような置物か知らせてほしい。 |
| 2 | 大型犬小型犬別に遊べるドックランスペースを作ってほしい。犬が走り回る姿を子どもにも見せたい。 |
| 3 | 野川沿いに住んでいますが、川をはさんだ向かいの家が無くなったせいで「人の目」がなくなり、サイクリング道路の特に夜間の治安をとて不安に感じています。現在は工事現場の壁に何箇所か監視カメラありますが、もっとカメラで防犯してます!!とあからさまなくらいの設置とアピールがほしいし、外環完成後も防犯対策をしっかりと考えた照明の設置、カメラ、考えてほしいです。夜間、家族で東名下を喜多見小に平行してウォーキングしていますが、東名下付近、とても薄暗く落ち着きません。こんな環境になってほしくないため、起きてからの対策ではなく、未然に防げることを前提で今の内から見せてほしいです。あと樹木も一見良い様でも死角を作ります。その辺考えてほしい。それと、早朝 5:30 にトラックが通るの、早すぎて目が覚めて困っています。工期に向けてやむを得ないのでしょうか? |
| 4 | 前略 日頃大変お世話になっております。さて、過日配布された東名ジャンクション上部空間等利用ニュース(No.5)の上部空間等利用計画のゾーニング修正図上で喜多見大橋周辺の「利用保留地域」の機能補償道路及び利用保留地域の範囲が、今年 7 月 30 日喜多見七丁目外環オープンハウス(13:00~17:00)常設会場で掲示された図面と相違するのは何故か説明してください。 今回のニュース(No.5)では周辺住民として誤解を与えています。至急調査のうえ、ご連絡ください。 以上(2017, 10, 8) |
| 5 | 1. オープンハウスは、外環整備の民主的な話し合いの象徴となっています。このオープンハウスを残してこれからの地域の交流の場としていくことが、良いと思います。もちろん、建て直すことも必要とも思いますが、お隣の福祉・交流・防災拠点の整備ともあわせ、地域 |

の中で、しっかりと、新しいオープンハウス、というものが整備されていくべきだと思います。

2. 外環・東名のジャンクションは、関東全体にとって必要不可欠なものであるということは理解します。しかし、そのジャンクションの存在する現場の地域が、相変わらず、交通不便地域であるというのは、なんとも皮肉なことと思うのです。これまで、四十年にわたる外環道整備凍結によって、まちづくりが発展してきてない、と思うのです。この際、ジャンクション整備と共にこの地域の交通不便問題を解決していくことは、なんら不思議ではないことなのではないでしょうか。大きな都市施設ができて、それが、地元住民にはなんの恩恵もないということは、おかしなことと思います。この際、大規模バスターミナルや、二子玉川駅へのバス専用レーンの設置など、ありとあらゆる、抜本的な改善を望みます。

3. 商店街を作っていただきたいのです。私たちは、外環道整備が将来あるとのお話で、それまでは、この地域は、何もできない、というようなお話をきき、買い物も、二子玉川まで、バスで行かなければ、なりません。これが、この地域では当たり前なのだ、という気持ちでした。でも、外環道がやっと整備される、そして、私たちの生活環境もやっと、良くなる、区も、環境整備や、賑わいの場を作っていただける、ということで、嬉しいのですが、日常生活で、一番の問題は、商店がないことなのです。やはり、お買い物は、バスに乗って、二子玉川まで行くしかない、ということでは生活不便が解消されません。緑や公園も大切ですが、高齢者の方の増加などを見ると、ぜひとも、商店街を作っていただきたいのです。お話によれば、道の駅のようなものもできる可能性があると同いました。ぜひともそのようなものを作ってください。よろしくお願いします。

4. 文化施設を作ってください。上部空間等利用計画に足りないものは、文化施設です。これまで、外環道整備凍結に伴って、何も施設ができていない、という状況でした。これからは、生活の潤いや、生きがい、楽しみ、あるいは、世界一流の芸術家に接することができる、ということが、もとめられるはず。四十年以上にわたり、何も新たな文化施設の整備がなされなかった状況を踏まえ、この地域の将来を考えたときには、ぜひとも、文化施設が必要だと思います。よろしくお願いします。

5. 区のお知らせによれば、ジャンクションの換気塔の色、デザインを募集するとのこと。そうであるならば、この地域の最大の建築物である、このジャンクションそのものの色を変えていくべきです。ぜひとも、公募して様々なお考えの人たちの意見を集め、新しいイメージのジャンクションの全国に向けてのモデルケース、見ていて楽しくなるような姿をつくりだしていくべき、と思います。前向きな検討をしてください。

6. 体育室・運動広場について

体育室の運営については、多くの人々が気軽に使えるよう、使い勝手の良い、そして柔軟な施設運用の仕組みを作るべきです。さらに、この体育室・運動広場については、面積規模が大きいことから、一部に、集会室を設け、スポーツのみならず、文化的活動もできるようにすべきです。さらに、体育室については、イベントホールとして、音楽的な活用もできるように、すべきです。

7. 防災施設について

災害時の防災備蓄倉庫としての整備を考えているとのことですが、災害時については、区全体としても大きな混乱の中にあり、区役所だけでは、対応がとれないと思われます。そこで、この防災倉庫については、その一部に、事務室機能を整備し日常、非日常を含めて、その運営を地元（あるいは民間事業所）に委託する、という形が良いと思います。この事務室機能

| | |
|---|--|
| | <p>で、防災広場、小学校第2校庭、体育室・運動広場の日常運営支援も行うことが良いと思います。この地域は、なかなか人の目が届かないところでもあり、防犯の観点からも、このような、事務室機能は必須だと考えます。</p> |
| 6 | <p>①福祉等施設の木造化・木質化について</p> <p>我が国における二酸化炭素の排出量の約2割が運輸部門からのものであり、その9割が自動車である。したがって、本工事については、地球温暖化防止、環境保全等の観点から緑地帯の造成だけでなく、福祉・交流・防災拠点及び体育室・運動広場における建築物について木造化・木質化を図ることで、環境保全のみならず二酸化炭素の吸収・貯蔵＝地球温暖化防止に努めていることを積極的にPRすべきである。国土交通省・農林水産省は、平成22年に「東京都公共建築物における多摩産材利用推進方針」を策定し、積極的な木材利用促進に努めている。特に、世田谷区は、昭和56年から群馬県川場村といわゆる縁組協定を結んで交流を続けている。上記施設の木造化等に多摩産材だけでなく、川場産材も利用することで、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用が可能となり、環境保全・地方創成に対する国、都、区の取り組みアピールすることができるものと考えます。</p> <p>②左折路線の確保について</p> <p>砧小学校前の交差点は、上り路線において世田谷通りの混雑により、バスの左折が困難になることが多く、砧中学校下の交差点まで渋滞の影響が出る場合も見られる。東名JCTの完成により交通量の増大が見込まれることから、早急に大型バスが通れるような左折路線の明確な確保が必要である。既に砧小前交差点のくだけり路線はその措置が取られており、スムーズな運行が確保されている。上下線は同様な道幅と思われるので、早急な改善をお願いしたい。</p> |